

同世代に“エール”

人生つづった60編収録

山口さん^(前橋) 随筆集出版



「同世代の人に楽しんでもらえれば」と話す山口さん

本県が「女のしあわせランキング」で最下位になってしまったことについて書いた「ワーストワン」、方言について語る「てるんちだけ」など群馬編や、息子の高校受験を回想する「発表の朝」、夫と交わした二つの約束について書いた「約束」など家族編で構成している。

山口さんは、自身の人生を振り返るような内容は「同世代の読者にとっては『エール』になるのでは」と話している。

新書判、199ページ。希望者に1296円(送料別)で販売する。問い合わせは百年書房(☎03・6666・9594)へ。

医療法人崇心会理事の山口てる代さん(58)は前橋市荒牧町。家族や友人、社会問題について感じたことをまとめた随筆集「還暦は赤いセーラー服を着て」を自費出版した。

自分の名前が入った形のあるものを残したいと考え、「私はこんな風に生きてきた」と語り掛けるように書いた」と話している。

出版は、2012年秋から東京のカルチャースクールで文章の書き方や自分史をまとめる作業について講座を受けたことがきっかけとなった。講座で書いた文の中から選んだ60編が、本書に掲載されている。